

令和4年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(外国語) 科目：(コミュニケーション英語Ⅱ) 対象：(第 2 学年 1 組～7 組)

科目担当者：(1 組：後藤 優美子[Ⓔ]) (2 組：谷川 聖司[Ⓔ]) (3 組：吉野 一真[Ⓔ]) (4 組：吉野 一真[Ⓔ]) (5 組：吉野 一真[Ⓔ]) (6 組：後藤 優美子[Ⓔ]) (7 組：谷川 聖司[Ⓔ])

| | |
|------------|--|
| 教科・科目の指導目標 | 学カスタンダードに基づき、四技能をバランスよく習得し、実践的な英語力を身につける一方で、難関大学受験に耐えうる読解力、文法力、語彙力の習得を目指す。 |
|------------|--|

| | 前年度の学力調査分析結果 | 分析結果を踏まえて検討した指導内容 | 指導体制の確立 |
|------|--|---|---|
| 年度当初 | <p>第 1 学年時に行われた定期考査や模擬試験等から以下のことが挙げられる。</p> <p>1 単語熟語の問題では記述式の正解率が低い。発音・アクセントもまだ定着していない。</p> <p>2 読解力では、大まかに内容をつかむことはできるが、正確な理解という点では課題が残る。</p> <p>3 文法・語法・作文については、既習の問題は出来るが、応用問題には対応できず、定着していない。</p> <p>4 リスニング・表現力という英語 4 技能の重要な部分の力に課題があり、より実践的な能力をつけていく必要がある。</p> | <p>1 ALTとの授業や音読、プレゼンテーション等の取り組みを通して、正しい発音の意識付けやスピーキング力の向上を図る。</p> <p>2 単語集を用いた朝学習テスト、セクションごとの単語テスト等を通じて語彙力の増強を図る。</p> <p>3 教科書の精読と副読本等の多読による読解力の向上を目指す。</p> <p>4 単語テストに加え、語法・文法の小テストを通じて多面的な英語力の強化を図る。</p> <p>5 既習事項を応用した英作文課題を定期的に課し、英文構成力の向上を図る。</p> <p>6 速読、リスニング等の教材を用いて幅広く英語力を向上させる。</p> | <p>1 教科広報の「英語通信」等を通じて、学習内容を生徒に周知するとともに、教員間の連絡を密にして、指導体制の共有化をより一層図る。</p> <p>2 語い、文法、副読本、英作文等の学習課題と小テスト実施により学習内容の定着を図る。コミュニケーション活動を行うための知識と技能の育成を目指して、授業計画等を立案していく。</p> <p>3 朝学習を通じて、語彙力の強化と速読力の養成を図る。</p> <p>4 英検の過去問や速読教材、リスニング等の教材を用いて幅広く英語力を向上させる。</p> <p>5 定着の不足している生徒への補習指導のほか、成績上位層生徒への教科指導も充実させていく。</p> |

| | 生徒の変容 | 生徒の学力の定着状況 | 次年度に向けた指導体制の改善 |
|-----|-------|------------|----------------|
| 年度末 | | | |